学校番号	2004

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	新詳地理探究（帝国書院）						
副教材等	新詳地理資料 COMPLETE（帝国書院）2026 データブックオブザワールド（二宮書店） サクシード地理 2026 年度（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理探究では、地理総合で学んだことを土台にして、現代世界のさまざまな課題や動向について、正しく理解し、的確に判断する能力を身につけることをめざし学習します。単なる地名や統計データの学習にとどまらず、生徒が実際のデータを分析し、社会の動向を読み解き、未来を考える力を養うことを重視します。

2　学習の到達目標

(1)「系統地理」「地誌」「日本の国土像」の３つの単元を軸に世界の現実を分析，整理する。世界は自然災害や経済格差の拡大，難民・移民問題など，さまざまな課題に直面している。これらの課題は，地域ごとに異なる地形や気候，生態系などの地域的な自然環境や文化，政治，経済などを反映している。これらに着目して，総合的に考察できるような基本的な知識・技能を身につけるようにする。

(2) さまざまな課題に対して主体的に取り組み，課題の解決に進んで参加しようとする態度が求められる。そのためには，幅広い情報の収集・活用が必要である。さらに，分析，整理した結果を加え，これからの世界について探究する力を養う。

(3) 探究の過程を通して，世界の中の日本の将来の在り方について，問題を見いだし，情報の収集，調査，データの分析や解釈，推論などを行い，探究する力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の空間的な諸事象の規則性，傾向性や，世界の諸地域の地域的特色や課題の理解，地理に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	地理に関わる諸事象等の意味や意義，特色や相互の関連について，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，系統地理的，地誌的に，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりするなど探究している。	世界の空間的な諸事象の規則性，傾向性や，世界の諸地域の地域的特色や課題に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	自然環境	1 地形 2 気候 3 日本の自然環境 4 地球環境問題 【探究】気象と気候と深く関わる火災	a:地形，気候，生態系などに関わる諸事象の空間的な規則性，傾向性や，地球環境問題の現状や要因に関する基本的な知識・技能を身につけている。 b:地形，気候，生態系などに関わる諸事象について，場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目し，主題を設定し，空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:自然環境について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート ワークノート 振り返り
	資源と産業	1 農林水産業 2 食料問題 3 エネルギー･鉱山資源 4 資源･エネルギー問題 5 工業 6 第三次産業 【探究】農業と食料需給の地域性	a: 資源・エネルギーや農業，工業などの事象の空間的な規則性，傾向性や，資源・エネルギー，食料問題の現状や要因に関する基本的な知識・技能を身につけている。 b: 資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目し，主題を設定し，空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 資源，産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど探究しようとしている。	定期考査	定期考査 発表	発表 ワークノート 振り返り

前期	交通・通信と観光，貿易	1 交通・通信 2 観光 3 貿易と経済圏 【探究】環境保全と観光振興の両立	a:交通網や通信網の発達には，なぜ傾向や地域性，地域間格差が現れているかについて基本的な知識・技能を身につけている。 b: 交通網や通信網の発達には，なぜ傾向や地域性，地域間格差が現れているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 交通・通信について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート ワークノート 振り返り
	人口，村落・都市，生活文化，民族・宗教	1 人口 2 人口問題 3 村落と都市 4 都市・居住問題 【探究】都市景観の保全とさまざまな再開発 5 衣食住 6 民族・宗教と民族問題 7 国家の領域と領土問題 【探究】排他的経済水域の活用	a: 人口，都市・村落などに関わる諸事象，生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，民族，領土問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどの基本的な知識・技能を身につけている。特に、北方領土・竹島・尖閣諸島に関しては、我が国固有の領土であることを理解する。 b: 人口，都市・村落，生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 人口，村落・都市，生活文化，民族・宗教について，について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 発表	発表 ワークノート 振り返り
後期	現代世界の地誌的考察	1 現代世界の地域区分 2 現代世界の諸地域 ①東アジア ②東南アジア ③南アジア ④西アジア・中央アジア ⑤アフリカ ⑥ヨーロッパ・ロシア ⑦南北アメリカ ⑧オセアニア	a:諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解し，地域の結びつき，構造や変容などを地誌的に考察する方法などの基本的な知識・技能を身につけている。 b: 諸地域について，地域の結びつき，構造や変容などに着目して，主題を設定し，地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート ワークノート 振り返り

	現代世界におけるこれからの日本の国土像	1 将来の国土の在り方 2 持続可能な日本の国土像の研究	a:これからの日本の国土像の探究をもとに，我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や，探究する手法などについて理解している。 b:日本の国土像について，地域の結びつき，構造や変容，持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し，表現している。 c: 持続可能な国土像の探究について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 発表	発表 ワークノート 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度